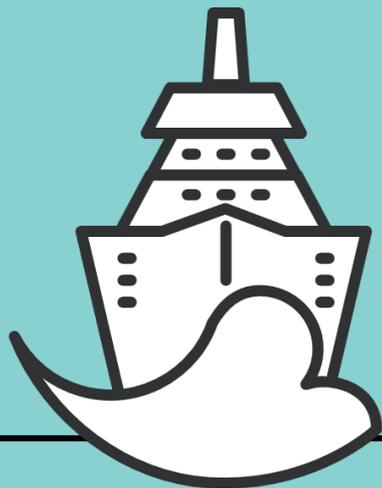


2022年度インターゼミ 多摩学班  
**多摩圏の防災対策について**  
**—現状と今後の展望— (仮)**



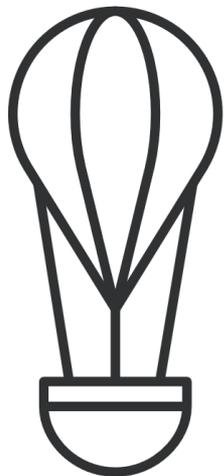
学部生 田中・関沼

大学院 栗原・塩崎

大学院菊OB 菊永

担当教員 落合・新西・荻野





## 本日の報告内容



1. 研究テーマと背景
2. 多摩地域の対象範囲
3. 多摩圏における災害の歴史
4. 多摩圏における防災への取り組み  
公助・共助・自助
5. 今後のスケジュール
6. フィールドワーク先候補
7. 参考・引用文献等

# 1. 研究テーマと背景

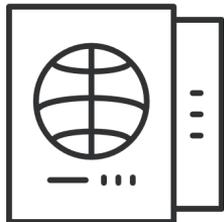
研究テーマ

多摩圏の防災対策について

—現状と今後の展望—

01

住みやすい街で、  
必要な要素？



前年度は「住みよい街」というテーマで多摩地域を調べていった。今回は「安全」という観点から「防災」に絞る。

02

防災は生活の土台



近年、歴史的に類を見ない災害に見舞われており、「防災」は私達の生活の土台となっている。今後もより重要視されていくと予想される。

## 2. 多摩地域の対象範囲

**多摩地域**：一般的に東京23区と島嶼部を除いた地域をさすことが多い

※ 東京都の多摩振興対象等



多摩大学出版会の『多摩学』においては、神奈川県の一部を含む「多摩圏」を定義しており、本年度の研究においては「多摩圏」を対象として研究を進める

### 【本年度の研究対象地域】

**多摩圏**：東京都多摩地域のみならず、多摩川流域と相模川流域に挟まれた地域



【出典】多摩大学出版会 『多摩学 経営情報学から見た「多摩圏」』 p.16

### 3. 多摩圏における災害の歴史①（東京都西部）

	2022～1990 現代	1990～1945 昭和(戦後)	1945～1868 昭和(戦前)・大正・明治	1868～1603 江戸
水害	<p>2019:台風19号 多摩川出水 2007:台風9号 多摩川大洪水</p> <p>◇台風による川の氾濫などの甚大な被害約10件 ◇2001年以降大規模な河川改修は行われていない</p>	<p>1983:台風5・6号 多摩川被災 1974:台風16号 多摩川決壊</p> <p>◇台風による川の氾濫などの甚大な被害約9件 ◇ニュータウン化に伴う都市計画において災害(地震・水害等の計画書)作成</p>	<p>1886:多摩川洪水 1875:暴風による土砂崩れ</p> <p>◇台風による川の氾濫などの甚大な被害約23件 ◇明治大正期より河川の改修に着工</p>	<p>1858:多摩川出水 1606:多摩川大洪水</p> <p>◇台風による川の氾濫などの甚大な被害約102件</p>
地震	<p>2011:東日本大震災</p> <p>◇他県から避難者受け入れ</p>		<p>1923:関東大震災</p> <p>◇南多摩郡が東京や横浜からの罹災者受け入れ</p>	<p>1782:小田原地震</p> <p>◇記録が残っている地震 他約32件</p>
噴火				<p>1783:浅間山噴火 1707:宝永の大噴火</p> <p>◇多摩地域にも火山灰</p>

参考:パルテノン多摩、『災害と多摩』,2017,関連年表 78p～82p

# 3. 多摩圏における災害の歴史②（神奈川県東部）

	2022～1990 現代	1990～1945 昭和(戦後)	1945～1868 昭和(戦前)・大正・明治	1868～1603 江戸
水害	2019:台風19号 相模川出水 1999:熱帯豪雨 相模川危険水域	1974:台風10号 相模川流域浸水 1947:カスリーン台風 相模川流域複数箇所堤防決壊 ◇1957年:水系を一貫した相模川水系 改修計画の策定	1907:相模川洪水 1910:台風 ほぼ全川で破堤	1608:相模川水系(金目川)洪水 ◇10年に一度洪水が発生(記録に残っているものだけで)→治水事業の開始
地震	2011:東日本大震災	1923:関東大震災	1782:小田原地震	
噴火				1783:浅間山噴火 1707:宝永の大噴火 ◇神奈川県東部にも火山灰

参考:国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所HP「災害の記録 相模川」

噴火：浅間山の噴火（1783）



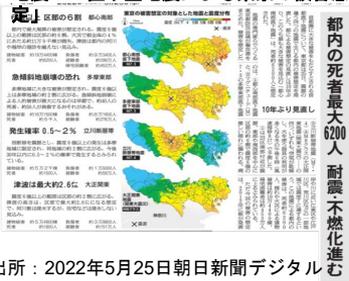
出所：東京都公文館アーカイブ

水害：台風19号の被害八王子市（2019）



出所：国土交通省 関東地方整備局

地震：「直下型地震による東京の被害想定」



首都直下地震 被害想定を縮小  
都内の死者最大6200人 耐震・不燃化進む

◇東京都が首都直下型地震が起きた際の被害想定を10年ぶりに改定（2022年5月25日）

## 4. 多摩圏における防災への取り組み①

災害による被害を最小限に抑えるためには、自助(自分の身は自分で守る)、共助(地域で助け合う)、公助(市や消防などの公的支援)による「三助」の取り組みが重要です。



### 自助

- ・家庭での防災意識の向上
- ・家庭での備蓄、非常持ち出し品の準備
- ・自宅の耐震化・耐火、エネルギー対策
- ・避難経路や避難場所の確認

### 共助

- ・隣近所とのコミュニケーション
- ・自主防災組織の結成・育成
- ・防災訓練や研修会の実施

### 公助

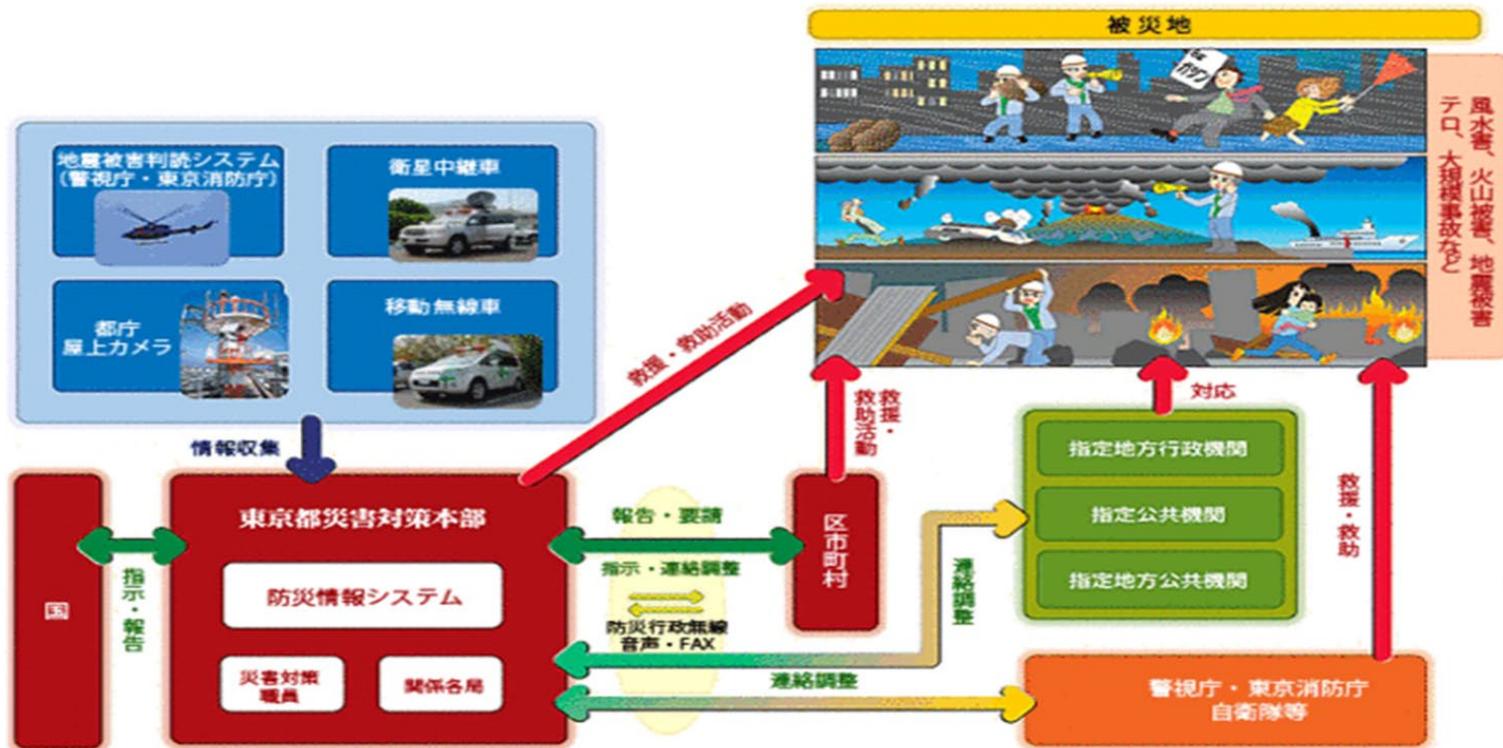
- ・避難所の指定と整備、備蓄品の整備
- ・水道管の耐震化や治水対策などの促進
- ・消防、警察、自衛隊などによる救助活動

出典：<http://obihiro-kurashibousai.com/bousai/kazokuhanashi-2/>

# 4. 多摩圏における防災への取り組み②（公助）

災害対策本部を中心として整備され 国、区市町村、その他の機関と連携しながら災害に対応します。

【引用】東京都防災ホームページ<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1000067/1000369.html>



## 4. 多摩圏における防災への取り組み③（公助の例）

- ・ 情報伝達機能の充実
- ・ ラジオ、メール、SNS、ホームページ等の活用
- ・ 防災行政無線の活用など
- ・ 避難所機能の充実
- ・ 備蓄品の整備、管理
- ・ 災害用井戸の整備など
- ・ 自助への支援
- ・ 出前講座やパンフレット配布による啓発など
- ・ 共助への支援
- ・ 自主防災活動への補助金交付
- ・ 出前講座による自主防災活動の啓発
- ・ 災害対応（人命救助、復旧・復興など）
- ・ 防災訓練（関係機関との連携強化）



※イラスト出典：株式会社東京法規出版  
「自主防災活動パンフレット」より

## 4. 多摩圏における防災への取り組み④（共助）

共助：地域社会において、周囲の人々が協力して助け合うこと。



防災訓練・防災イベントの実施



防災マップの作成



マンション等での防災備蓄品の整備



救命講習の実施

## 4. 多摩圏における防災への取り組み⑤（共助の例）

### 先進的なコミュニティー

#### ～立川市自治会連合会～

- ・多摩圏にある地域団体の中で特に**地域のつながり**を重視した取り組みを行っている団体
- ・その中でも錦町などいくつかの支部を取り上げ**フィールドワーク**や**インタビュー**を行う



出典：[https://www.travel-zentech.jp/japan/tokyo/Tachikawa\\_City.htm](https://www.travel-zentech.jp/japan/tokyo/Tachikawa_City.htm)

### 共助に活用されるツール

#### ～株式会社コトブキ「防災ファニチャー」～

- ・パブリックスペースを地域の安心・安全の基盤とするツール「**防災ファニチャー**」
- ・このような共助に活用されるツールが、多摩圏でどのように活用されているのか調べる



出典：<https://townscape.kotobuki.co.jp/sp/bosai/index.html>

## 4. 多摩地域における防災への取り組み⑥（自助）



### フェーズフリー

- ・多摩地域で**フェーズフリー商品**や**備蓄商品**を扱っている**企業**にフォーカスをしていく。
- ・いくつかの企業のビジネスモデルを分析し、多摩圏域の企業と**比較**していく。



出典：平型LED付きモバイルバッテリー|フェーズフリー認証 (phasefree.net)



出典：おしゃれでおいしい非常食カフェ 新宿「IZAMESHI Table」-SankeiBiz (サンケイビズ)；自分を磨く経済情報サイト



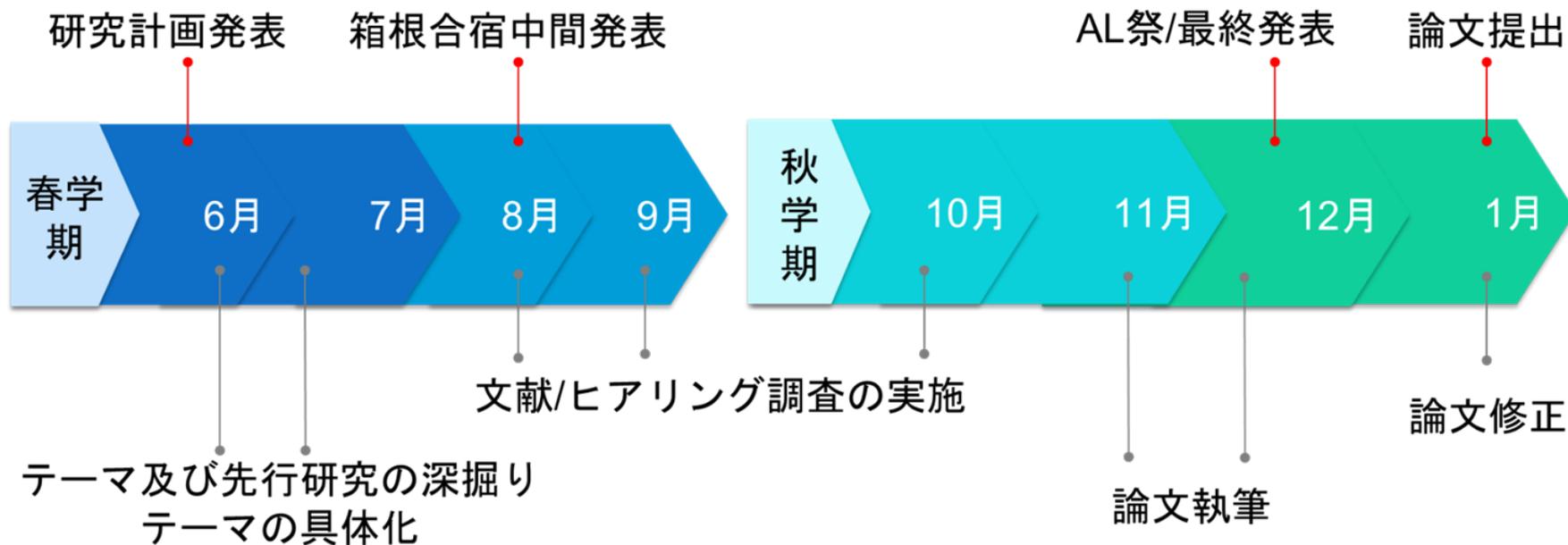
### IT技術 (IoT)

- ・八王子市で行われている「**身近なIoTプロジェクト**」について調べていく。
- ・”IT技術&防災”という視点からの地域防災について書いていく。



出典：八王子防災プロジェクト|株式会社エイビット (abit.co.jp)

# 5. 今後のスケジュール



## 6. フィールドワーク先候補

- ①立川防災館
- ②市役所（稲城市、相模原市、多摩市等）
- ③立川市自治会連合会
- ④株式会社コトブキ
- ⑤東京大学演習林田無演習林（西東京市）
- ⑥JA東京中央

※防災に関わる人々へのインタビューにしっかりと取り組む。



出典：防災館 東京消防庁 都民防災教育センター ([tokyo-bskan.jp](http://tokyo-bskan.jp))



出典：JA東京中央 本店 - 世田谷情報局 ([setagaya-joho.com](http://setagaya-joho.com))

# 7. 参考・引用文献

## <書籍・資料>

- [1]長島剛・野坂美穂・高橋恭寛・加藤みずき・内藤旭恵・樋笠堯士『多摩学 経営情報学から見た『多摩圏』』多摩大学出版会、2022年。
- [2]パルテノン多摩歴史ミュージアム『特別展災害と多摩 多摩丘陵の自然災害と多摩ニュータウン開発』公益財団法人多摩市文化振興財団、2017年。

## <WEB>

- [1]東京都防災ホームページ「東京都の防災体制」<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1000067/1000369.html>  
(2022年5月27日閲覧)。
- [2]伊藤忠商事株式会社 繊維経営企画部「災害大国ニッポンの防災ビジネス」、繊維月報 vol.719、2020/03、[https://www.itochu.co.jp/ja/business/textile/geppo/202003/geppo\\_vol719.pdf](https://www.itochu.co.jp/ja/business/textile/geppo/202003/geppo_vol719.pdf) (2022年05月28日閲覧)。
- [3]ABITホームページ「八王子防災プロジェクト」<https://www.abit.co.jp/products/hachibo/> (2022年05月28日閲覧)。
- [4]立川市自治会連合会「自治会について知ってみよう！」(2022年5月31日閲覧)。
- [5]国土交通省関東地方整備局「台風第19号に伴う「出水概要」」<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00229.html> (2022年05月30日閲覧)。
- [6]国立公文書館デジタルアーカイブ「浅間山焼」<https://www.digital.archives.go.jp/DAS/pickup/view/category/categoryArchives/0200000000/0202070000/01>  
(2022年05月30日閲覧)。

## <その他>

- [1]TOKYO MX「東京・多摩地域で新たな水害対策」、2017年8月16日、<https://s.mxtv.jp/mxnews/kiji.html?date=46512075> (2022年05月28日閲覧)。